

令和元年8月1日
千葉県病院局
043-223-3974

第1回 千葉県病院局医療安全監査委員会の結果概要について (会議議事録)

令和元年7月31日に開催しました、第1回 千葉県病院局医療安全監査委員会の審議結果概要について公表いたします。

1 日時・場所

令和元年7月31日(水) 14:00~15:20
ホテルプラザ菜の花 「4階会議室 榎」

2 出席者

医療安全監査委員会：長尾会長、五十嵐委員、大久保委員、眞田委員、豊田委員
(会長を除き、五十音順)

病院局：矢島病院局長、山崎副病院局長、伊能副参事兼医療安全安心推進室長 ほか
各病院：(がんセンター) 山口病院長、浜野副病院長、山田医療の質・安全管理部部長
(救急医療センター) 石橋病院長、古口副病院長
(精神科医療センター) 澁谷副病院長
(こども病院) 星岡病院長、中島医療局長
(循環器病センター) 村山病院長、岡嶋医療局長
(佐原病院) 露口病院長 ほか

3 概要

- 1) 開会
- 2) 病院局長あいさつ
- 3) 委員・事務局紹介
- 4) 議題 (議事進行：長尾会長)

(1) 令和元年度 医療安全監査の実施について

事務局より資料1『令和元年度医療安全監査の実施について』説明を行い、その後質疑・意見交換を行った。

《決定事項》

① 日程について

- ・救急医療センター 医療安全監査 8月21日(水)
- ・精神科医療センター 医療安全監査 9月12日(木)
- ・第2回医療安全監査委員会 12月26日(木)14:00~
- ・こども病院 医療安全監査 令和2年1月22日(水)
- ・第3回医療安全監査委員会 令和2年3月12日(木)14:00~

② 監査項目について

監査の大項目は、前年度と同様に以下の4点とする。

- ・医療安全管理体制の確立（ガバナンスの確保）
- ・医療安全管理活動
- ・患者の権利保障の取組
- ・高難度新規医療技術等導入のプロセス

これら4点に加え、各病院で医療事故等の調査結果を基に立案した事故防止対策について、実践状況を監査できるように「事故防止対策の実際」を病院の状況に応じて加える。また、前回の監査の指摘事項についても、項目として入れ込む。

③ 医療安全監査の進め方について

二巡目の監査であり、最初に、前回監査以降の医療安全に対する病院の取組を病院長から説明していただき、ヒアリングに入る。

④ 監査体制について

医療安全監査体制の充実を図ることを目的として、実地監査にあたり専門性を必要とする分野（医薬品の医療安全対策、感染管理）について、外部の大学病院等の薬剤師ジェネラルリスクマネジャー（GRM）及び感染管理認定看護師の協力を得る。

《意見等》

- | | |
|----|-----------------------------------------------------------|
| 委員 | ・日本医療安全調査機構の提言に対する対応状況を確認するため、監査委員は事前に提言内容を共有しておくべきではないか。 |
| 会長 | ・日本医療安全調査機構からの提言について、各病院の実地監査前に監査委員に資料を配付することとする。 |
| 委員 | ・インフォームド・コンセントの適正な実施状況を確認するため、説明文書を事前に確認する必要があるのではないか。 |
| 会長 | ・各病院の実地監査前に、監査委員に病院の代表的な説明文書について、2種類程度送付することとする。 |

(2) 救急医療センター・精神科医療センター医療安全監査について

事務局より、資料2「救急医療センター 医療安全監査スケジュール（案）」、資料3「精神科医療センター 医療安全監査スケジュール（案）」の説明を行い、その後質疑・意見交換を行った。

《決定事項》

- ・スケジュールについては、承認を得た。
- ・協力員の班の配置について、討議し決定した。

《意見等》

- | | |
|----|-------------------------------------------------------------------|
| 会長 | ・病院の実地監査でのヒアリングや現場確認については、多少の重なりは仕方ないが、前回の監査と異なるスタッフや部署をヒアリングしたい。 |
|----|-------------------------------------------------------------------|

5) 報告事項

(1) 令和元年度包括公表の実施について

事務局より令和元年7月10日に行った包括公表について報告した。

《意見等》

- | |
|----|
| 委員 |
|----|

・事故調査・支援センターへの報告事案が増えているが、いい傾向と言えるのか。
- | |
|----|
| 会長 |
|----|

・いい傾向、よく拾えている。ここに上がるまで、緊急の検討を要した事案分のうち、どれくらいが院内事故調に上がっているのか知りたいところ。1,000床規模だと月1件、調査するかどうか悩む案件が発生する。まずは現状把握できる体制であることは評価できる。6病院全体で見ていくことが大事である。
- | |
|----|
| 委員 |
|----|

・院内事故調査委員会外部委員に弁護士を選任する場合、患者・家族に納得いただけるよう、中立的な立場の方を選定することが重要である。

6) その他

次回、第2回医療安全監査委員会は、12月26日(木)に決定した。

7) 閉会